

「元來本種ハ、根ヲ地中ニ下シテキル部分が淺イモノデアルガ、之ニ加フルニ、普通ハ傾斜地ニ生育スルノデアルカラ、ソノ生育地ノ表土ガ雨水ノタメニ洗ヒ去ラレタナラバ、愈々以テ、ソノ根本ハ非常ニ淺イモノトナツテ了フ。コノコトハ第八九圖ヲ見レバ明白ナコトデアル。サウナルト、一朝颶風ノ襲來デモアレバ、コノ樹木ハ直チニ倒壞サレルノデアル」(早田氏植物分類學第一卷 p. 212-3)

以上ハ早田博士ガ富士山ノこめつガニ就テ述ベラレタ事デアルガ、富士山ノ様ナ土質ノ所デハこめつガニ限ラズ、何ンデモ風當リノ強イノハ同一ノ運命ヲタドルノデアツテ、其結果ハコノ寫眞ノ様ナ倒レ方ヲスルノデアル。關東地方ニ於テハ第三紀ノ割合ニ堅イ、凝灰岩ダカ頁岩ダカ譯ノ分ラヌ岩石ガアツテ其上表土ノ淺イ處ニ於テモ、カカル現象ガ現レルモノデ、一昨冬ノ大風ニ際シテハ相州江ノ島ナドデハ之ト殆ンド同様ナ狀態ガ見ラレタ。

ぷらじのくらづすノ室蘭ニ産スル事

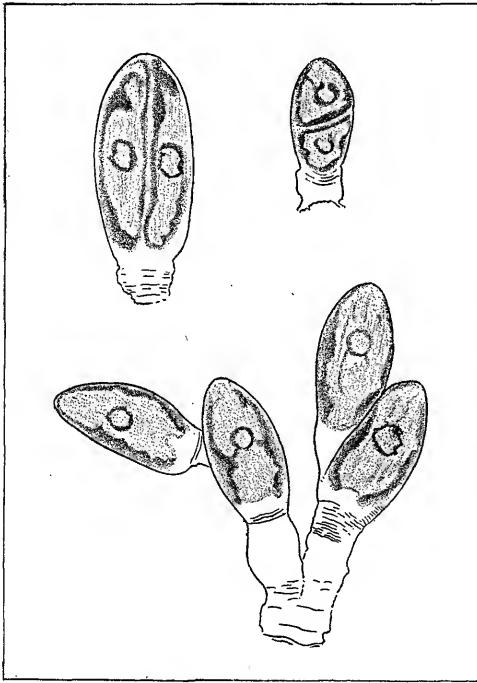
山 田 幸 男

Y. YAMADA: On *Plasinocladus* from Muroran

昨年ノ暮頃カラ、室蘭市ニアル北大理學部附屬ノ海藻研究所ニ於テ海藻培養瓶ノ壁ノ一部ガ淡綠色ニ染マツテ來タ。早速カキ取ツテ顯微鏡デ觀フト圖ノ様ナ一種ノ綠藻ガ見ラレタ。コレハ一見シテ OLTMANNS 氏ノ Morphologie u. Biologie der Algen ノ第二版第一冊 241 頁ニアル DAVIS カラ採ツタ圖、即 OLTMANNS 氏等ノ *Chlorodendron subsalsum*、又 COLLINS 氏等ノ *Plasinocladus subsalsus* DAVIS ノ圖ト好ク似テキルコトガワカル。ソコデ其後室蘭ヘ行ク度ニ觀察シテ或ハ游走子ガ出ハシナイカト注意シテキタガ、不幸ニシテソレハ見ルコトガ出來ナカッタ。ソシテ最後ニ去ル二月半バニ見タ時ニハモヘ皆枯レカ、ツテ來テキタ。ソコデ今迄ニ觀察シ得タ所ヲ少シク報告スルコトニスル。

此ノ藻ノ體ハ高サハ多クハ 100 μ 内外、太サ 10-20 μ 位デ、圖ニ見ル様ニ枝分レヲナシ、下部ノ仕切りノ中ニハ内容ハナク、隔膜ノ附近ニハ屢々横皺ガ見ラレル。先端及ビソノ附近ノ仕切りノ中ニハ内容ガ充チテキル、即チ大キナ一個ノマント狀ノ葉綠體ガアツテ細胞壁ニ沿フテ位置シ、ソノ下部ニハ屢々足ノ様ナ

裂片ガブラ下ツテ居ル様ニ見エル。中央ニハ相當大キナ**ピレノイド**ガ一個アル。此ノ**ピレノイド**ハ COLLINS ニヨレバ存在シナイコトニナツテキルガ SMITH ノ記載ニハ存在スルトアル。何シロ室蘭ノモノニハ確カニ、ソレト覺シキモノガアル。次ニ眼點ハ隨分注意シテ何度モ見タガ見當ラナイ。恐ラク存在シナイノデハナイカト疑ハレル。然シコレハ COLLINS ノ記載デモ SMITH ノ本デモ又初メテ此ノ植物ヲ記載シタ DAVIS ノ記載ヤ圖デモ、更ニ此ノ類ヲ委シクシ



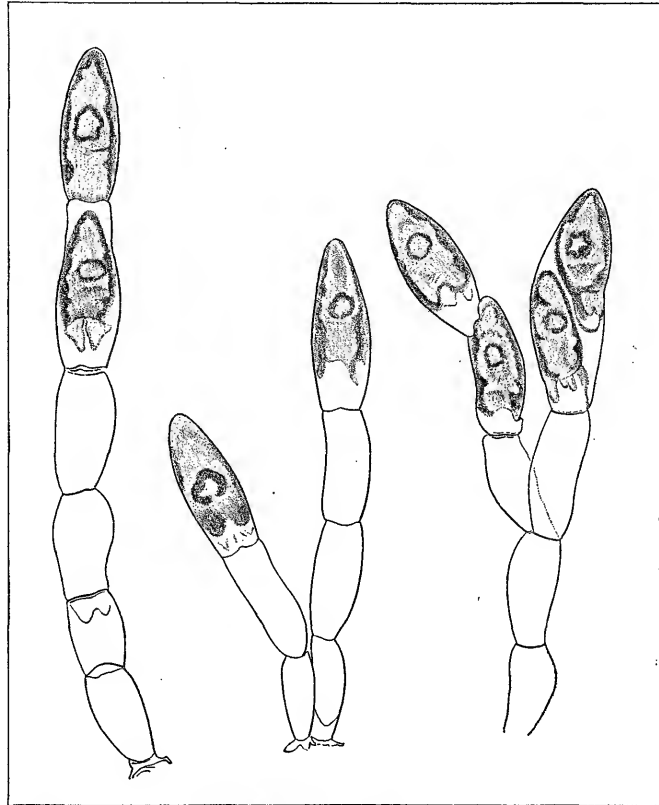
第1圖 *Plasinocladus* sp.
矮小ナ體ト若イ體 ×ca. 90

ラベタ LAMBERT ニヨツテモ何レモ立派ニ存在シ、又此ノ類ノ類縁關係ヲ論ズル際ニ重要視サレテキル點カラ考ヘテモドウモ不思議デアル。デ何レ又何回モ今後見テ行ク内ニ見付ケ出スカモ知レナイガ、兎モ角モ今日ノ所デハ何度見テモ無イノデアルカラ、無イト云フヨリ致方ガナイ。次ニ細胞ガ分裂ヲスルトキハ體軸ニ縱又ハ斜ノ膜デ仕切ラレ、水平ノ膜デ行ハレルコトハ殆ドナイ。

此ノ類ハ OLTMANN'S 氏等ニヨレバ綠藻類中**ボルボツクス**群中ノ固著性**ボルボツクス**類ト云フ中ニ *Tetrasporaceae* ト共ニ *Chlorodendraceae* トシテ收メラレテキルガ、PRINTZ, COLLINS ハコノ *Chlorodendraceae*

ト云フ科ハ認メズニ *Tetrasporaceae* ノ中ニ *Plasinocladus* トシテ入レテキル。ソシテ此ノ *P. subsalsus* B. M. DAVIS ト云フ種ハ米國及歐洲ニ見出サレテキル。室蘭ノモノハ恐ラク此ノ種デハナイカト思ハレルガ上述ノ様ニ眼點ノ存在等ニ疑問ガアルノデ今ノ所殘念乍ラ確然トハ決定シ兼ネル。然シ兎モ角此ノ類ガ室蘭ニ産スルコトハ確カト思ハレルノデアルガ、自分ハ矢張り此處ニ屬スルモノガ相州江ノ島ニ産スルコトラ見タコトガアル。ソレハモウ十何年カ前ノコトデアルガ、江ノ島ノ漁師町カラズツト廻ツタ邊ノ相當大キナ淺イ水溜ガ

一面ニ綠色ニ
 染テキルノヲ
 見テ、ソレヲ
 採リ檢鏡シタ
 所ガ確カニ此
 ノ類ト覺シキ
 モノガアリ、
 ソレヲスケツ
 チシテ永イ間
 保存シテキタ
 様ナ氣ガアル
 ノデアルガ、
 今室蘭デ上ノ
 植物ヲ見テ比
 較シ度ク思ツ
 テ探シタガ殘
 念乍ラ見當ラ
 ナイ。然シコ
 ンナ事カラ考
 ヘテ此ノ類ハ
 比較的廣ク我
 邦沿岸ニ産ス
 ルモノデハア
 ルマイカと思フ。



第 2 圖 *Plasinocladus* sp.
 長イ體ト分枝シタ體 × ca. 90

すげ屬植物雜記（其二）

秋 山 茂 雄

S. AKIYAMA: Notes on some Japanese Carices (II)

柱頭ノ四岐スルすげ 事ハ大分舊イ次第デハアルガ近頃 HAROLD ST. JOHN
 氏ヨリ同氏及ビ CHARLES S. PARKER 氏共著ノ A Tetramerous Species, Sec-